



スポーツ庁

第1回中学校柔道振興協議会
8/21 @長野県立武道館

地域スポーツクラブ活動への移行と 地域スポーツ環境の整備に関する現状と展望

スポーツ庁地域スポーツ課
専門官 内海 隆博

1. 部活動に関する直近のデータ、経緯等

中学校における合同部活動実施チームの推移【令和4年度までのデータ】

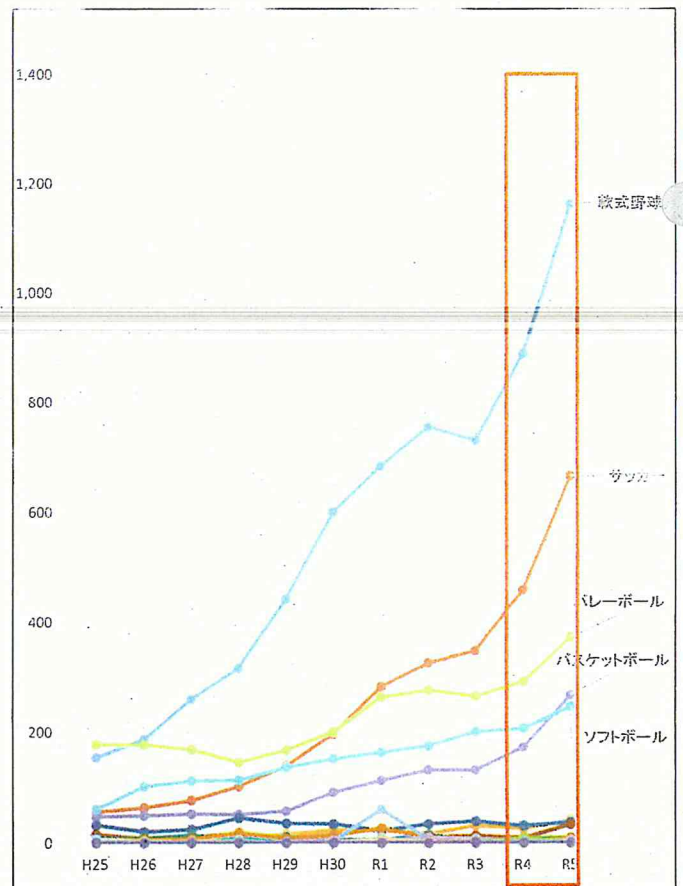
競技名	H25	R4	H25との比較	
軟式野球	154	889	477.3%	735
サッカー	55	458	732.7%	403
バレーボール	177	291	64.4%	114
ソフトボール	61	207	239.3%	146
バスケットボール	47	173	268.1%	126
ラグビー	32	31	-3.1%	-1
ハンドボール	10	25	150.0%	15
アイスホッケー	14	9	-35.7%	-5
スケート	0	8	—	8
ホッケー	5	8	60.0%	3
卓球	9	6	-33.3%	-3
柔道	6	3	-50.0%	-3
剣道	7	3	-57.1%	-4
陸上競技	5	2	-60.0%	-3
ソフトテニス	3	2	-33.3%	-1
水泳競技	0	1	—	1
バドミントン	5	1	-80.0%	-4
相撲	0	1	—	1
スキー	0	1	—	1
体操競技	5	0	-100.0%	-5
新体操	0	0	—	0
空手	0	0	—	0
合計	595	2,119	256.1%	1,524



(出典) (公財) 日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」の調査結果を元に作成。

中学校における合同部活動実施チームの推移【令和5年度までのデータ】

競技	H25	R5	H25との比較	
			増減率	増減
軟式野球	154	1162	654.5%	1,008
サッカー	55	666	1110.9%	611
バレーボール	177	372	110.2%	195
バスケットボール	47	268	470.2%	221
ソフトボール	61	247	304.9%	186
ハンドボール	10	40	300.0%	30
ラグビー	32	37	15.6%	5
アイスホッケー	14	33	135.7%	19
ホッケー	5	9	80.0%	4
陸上競技	5	8	60.0%	3
卓球	9	7	-22.2%	-2
剣道	7	7	0.0%	0
水泳競技	0	5	-	5
ソフトテニス	3	5	66.7%	2
バドミントン	5	2	-60.0%	-3
柔道	6	2	-66.7%	-4
体操競技	5	0	-100.0%	-5
新体操	0	0	-	0
相撲	0	0	-	0
スキー	0	0	-	0
スケート	0	0	-	0
空手	0	0	-	0
合計	595	2,870	382.4%	2,275



(出典) (公財) 日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」の調査結果を元に作成。

【部活動の意義】

- 生徒のスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保。
- 生徒の自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養。生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築。

【部活動の課題】

- 少子化の進展により、従前と同様の学校単位での体制での運営は困難。学校や地域によっては存続が厳しい。
- 必ずしも専門性や意思に関わらず教師が顧問を務める指導体制の継続は、学校の働き方改革が進む中、より困難。



- 少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保。
- 「地域の子供たちは、地域で育てる」という意識の下、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用。生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現。
- 生徒のみならず、地域住民にとってもより良いスポーツ・文化芸術の環境整備。スポーツ・文化芸術による「まちづくり」。

4

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備に係る最近の取組の経緯

令和4年度

- 6月 運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言 / 8月 文化部活動の地域移行に関する検討会議 提言
 - 7月 スポーツ庁長官から日本スポーツ協会、日本中学校体育連盟等への要請（大会の在り方の見直し等）
*文化庁からも、全日本吹奏楽連盟等に対し、要請している。
 - 11月 令和3年度における運動部活動及び文化部活動の地域移行等に関する実践研究事例集 公表
令和4年度補正予算：地方公共団体が行う移行体制の構築に必要な経費
 - 12月 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」策定・公表
 - 3月 令和5年度予算：地域移行を進めるための実証事業の実施や部活動指導員の配置等に係る経費
- 「部活動改革ポータルサイト」開設：ガイドライン解説動画、周知用チラシ・ポスター、各自治体の取組等を掲載
*部活動改革ポータルサイト（スポーツ庁HP）：
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00003.htm



令和5年度

- 9月 令和4年度における運動部活動及び文化部活動の地域移行等に関する実践研究事例集 公表
- 11月 令和5年度補正予算：重点地域における政策課題への対応、課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等に係る経費等
長崎県長与町における部活動の地域移行に関する好事例動画の公開
*YouTubeリンク：<https://youtu.be/I85fvyYrhA4?si=PCJD8Lr5LuvNcr5k>
- 12月 令和6年度予算案の閣議決定：地域クラブ活動への移行に向けた実証に係る経費等



5

2. 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン等

令和4年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化芸術活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、**新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。**
- 部活動の地域移行に当たっては、「**地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。**」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、**地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。**地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、**体験格差を解消することが重要。**

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

私立学校についても原則適用

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、**学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める**

II 新たな地域クラブ活動

私立学校は実情に応じて取り組むことが望ましい

学校部活動の維持が困難となる前に、**学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。**

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、**生徒の志向等に適したプログラムの確保**
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として**1日の休養日を設定**
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

Ⅲ 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

私立学校は実情に応じて
取り組むことが望ましい

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ **まずは休日**における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ **平日の環境整備**はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、**段階的な体制の整備**を進める
 - ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ **令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間**として地域連携・地域移行に取り組むつつ、地域の実情に応じて**可能な限り早期の実現を目指す**
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

Ⅳ 大会等の在り方の見直し

私立学校は実情に応じて
取り組むことが望ましい

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を**地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し**
 - ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ**教師が引率しない体制の整備**、運営に係る適正な人員確保
- ・ **全国大会の在り方の見直し**（開催回数の精選、複数の活動を体験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

スポーツ庁ホームページ

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1405720_00014.htm



学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（イメージ）

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付



学校部活動の地域連携

■ **合同部活動の導入や部活動指導員等の適切な配置**により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 (※アスリート・アーティスト等の人材を含む)
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■ 少子化の中、持続可能な体制にする必要
(学校や地域によっては存続が厳しい)

■ 地域の実情に応じた段階的な体制整備

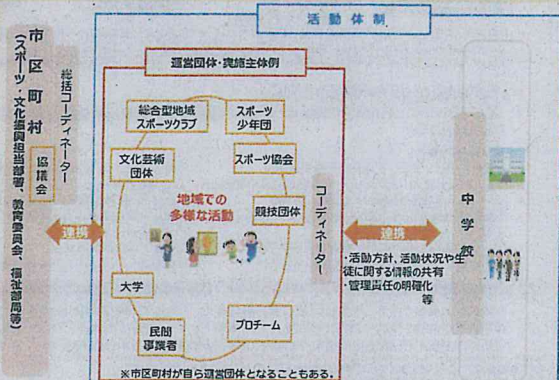
地域の実情に応じ、
当面は併存

休日の地域クラブ活動

【位置付け】学校と連携して行う地域クラブ活動
(法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術)

■ **地域の多様な主体が実施**。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	① 地方公共団体 （※複数地方公共団体の連携を含む） ② 多様な組織・団体 （総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、ア・サラム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	地域の指導者 （一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等が有する施設
費用	可能な限り低廉な会費＋用具、交通費等の実費
補償	各種保険等



3. 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業と今後の方向性

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備

令和6年度予算額 32億円
 (前年度予算額 28億円)



令和5年度補正予算額 15億円

方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

事業内容

I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業 12億円 (11億円) 15億円 (令和5年度補正予算額)

各都道府県・市区町村の地域スポーツ・文化芸術活動の推進体制等の下で、コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

(1) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例

体制整備 関係団体・市区町村等との連携調整 コーディネーターの配置、地域学校協働 活動推進員等との連携の在り方 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保	指導者の質の保障・量の確保 人材の発掘・マッチング・配置 研修、資格取得促進 平日・休日の一貫指導 ICTの効活用	関係団体・分野との連携強化 スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、大学、企業等 スポーツ推進委員、地域おこし協力隊 まちづくり、地域公共交通
面的・広域的な取組 地域クラブ活動の拡大 市区町村等を超えた取組	内容の充実 複数種目、シーズン制 体験型キャンプ レクリエーションの活動	参加費用負担の支援等 困難世帯の支援 費用負担の在り方
学校施設の活用等 ・効果的な活用や管理方法		

※ 実証事業2年目となる地域クラブ活動は、原則、国費だけではなく、一定の割合の受益者負担や行政・関係団体の自主財源からの支出、企業等からの寄付などの組み合わせにより、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築し、検証。
 ※ 平日・休日の一貫指導や市区町村を超えた取組など、地域の実情に応じた最適化・体験格差の解消を図る取組を充実。

★ 重点地域における政策課題への対応
 地域スポーツ・文化芸術環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を推進する。

<主な政策課題>
 ・多様なスポーツ・文化芸術体験の機会の提供
 ・高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
 ・スクールICTの活用や地域公共交通との連携
 ・不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
 ・トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
 ・企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用

・体育・スポーツ・文化芸術系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート・アテンド人材等の活用
 ・学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツ・文化芸術の活動拠点づくり
 ・動画コンテンツ等の活用
 ・多様なニーズに対応した大会の開催 等

(2) 課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等

- ・事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備に伴う新たな課題の整理・解決策の検討
- ・運営形態の類型や競技・分野ごとの地域クラブ活動のモデル・プロセス、組織マネジメント等の分析・検証
- ・単一自治体での対応が困難な場合の地域クラブ活動の整備促進方策の検討 等

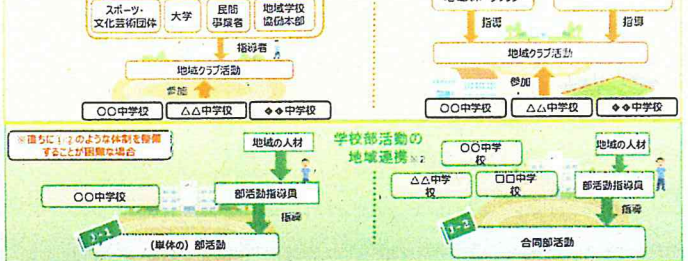
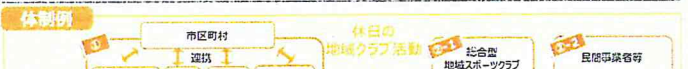
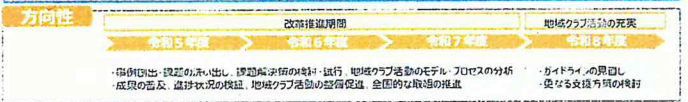
※1 補助割合について、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3、
 ※2 コミュニティスクール(学校運営協議会)等の仕組みも活用。

II. 中学校における部活動指導員の配置支援 18億円 (14億円)

各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のコースを踏まえた充実した活動とする。(補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1
 → 部活動指導員の配置を充実【16,013人(運動部：13,000人、文化部：3,013人)】

III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等 3億円 (3億円)

上記の施策を支える新たなスポーツ環境の構築等のため、以下の取組を実施。
 ・公立中学校の施設の整備・改修を支援(用具保管の倉庫設置、スマートロック設置に伴う扉の改修等)
 ・指導者養成のための講習会や集力等の根拠に向けた啓発活動の実施等。
 ・大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる仕組みを構築。
 ・デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制の構築(ポータル新設)



※ 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「文化芸術」には、障害者芸術を、「中学校」には特別支援学校中学校部等を含む。体制例は、あくまでも一例である。(担当：スポーツ庁地域スポーツ課、文化庁参事官(芸術文化担当))

岐阜県 (24市町) 岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、本巣市、北方町、大垣市、海津市、関ヶ原町、輪之内町、安八町、大野町、池田町、関市、美濃市、郡上市、坂祝町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、中津川市、高山市、飛騨市	秋田県 (3市町) 羽後町、大館市、能代市 山形県 (23市町村) 山形市、上市市、山辺町、中山町、西川町、村山市、尾花沢市、新庄市、金山町、最上町、鮭川村、米沢市、長井市、南陽市、高島町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、鶴岡市、庄内町、三川町、酒田市	青森県 (2市町) むつ市、三戸町 北海道 (18市町村) 由仁町、岩内町、余市町、安平町、厚真町、伊達市、登別市、厚沢部町、旭川市、鷹栖町、中川町、留萌市、初山別村、北見市、遠軽町、音更町、中札内村、足寄町	岩手県 (5市町村) 盛岡市、宮古市、大船渡市、西和賀町、九戸村 宮城県 (2市) 白石市、角田市 福島県 (4市町) 会津若松市、喜多方市、川俣町、三春町
滋賀県 (8市町) 彦根市、長浜市、近江八幡市、東近江市、米原市、竜王町、豊郷町、多賀町 福井県 (11市町) 福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、若狭町	新潟県 (21市町村) 上越市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、出雲崎町、湯沢町、津南町 東京都 (6市区) 品川区、渋谷区、杉並区、板橋区、日野市、狹江市	茨城県 (16市町) 水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、神栖市、土浦市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、結城市 群馬県 (4市町) 前橋市、榛東村、吉岡町、玉村町 栃木県 (5市) 小山市、栃木市、矢板市、那須塩原市、佐野市	埼玉県 (6市) 戸田市、白岡市、蕨市、熊谷市、深谷市、久喜市 千葉県 (8市町) 八千代市、流山市、佐倉市、成田市、山武市、睦沢町、袖ヶ浦市、鴨川市 神奈川県 (3市町) 藤沢市、大磯町、秦野市
兵庫県 (11市町) 尼崎市、伊丹市、三田市、猪名川町、丹波篠山市、高砂市、稲美町、播磨町、加東市、多可町、姫路市 大阪府 (5市) 豊中市、箕面市、守口市、大東市、岸和田市 鳥取県 (1市) 鳥取市 岡山県 (4市町) 玉野市、備前市、早島町、和気町	京都府 (3市町) 舞鶴市、福知山市、宇治田原町 富山県 (10市町) 高岡市、射水市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、朝日町、富山市 石川県 (5市町) 小松市、かほく市、野々市市、志賀町、穴水町 山梨県 (6市町) 甲府市、南アルプス市、昭和町、山梨市、甲州市、都留市	東京都 (6市区) 品川区、渋谷区、杉並区、板橋区、日野市、狹江市 山梨県 (6市町) 甲府市、南アルプス市、昭和町、山梨市、甲州市、都留市 長野県 (10市町村) 長野市、飯島町、佐久穂町、麻績市、飯田市、飯山市、塩尻市、須坂市、千曲市、松本市 三重県 (4市町) 孤野町、四日市市、志摩市、大台町 奈良県 (11市町) 大和郡山市、天理市、桜井市、生駒市、香芝市、平郡町、王寺町、河合町、吉野町、大淀町、下市町	愛知県 (12市町) 一宮市、江南市、春日井市、豊明市、北名古屋、大府市、常滑市、阿久比町、岡崎市、あま市、豊田市、田原市 総実施自治体数：339市区町村
山口県 (7市) 下関市、山口市、萩市、防府市、光市、美祿市、周南市 広島県 (6市町) 福山市、海田町、安芸高田市、三原市、府中市、三次市 佐賀県 (3市町) 左賀市、多久市、基山町 福岡県 (3市町) 宇美町、宗像市、豊前市	宮崎県 (4市町) 宮崎市、国富町、高鍋町、小林市 大分県 (3市) 豊後大野市、国東市、由布市 長崎県 (5市町) 長崎市、大村市、長与町、川棚町、波佐見町 熊本県 (12市町村) 大津市、玉東町、和木町、南阿蘇町、大津町、大津町、高森町、西原町、氷川町、湯前町、水上村、玉名市	鹿児島県 (6市町) 鹿児島市、枕崎市、南さつま市、薩川内市、知名町、与論町 沖縄県 (3市村) 那覇市、南城市、うるま市 宮崎県 (4市町) 宮崎市、国富町、高鍋町、小林市 大分県 (3市) 豊後大野市、国東市、由布市 長崎県 (5市町) 長崎市、大村市、長与町、川棚町、波佐見町 熊本県 (12市町村) 大津市、玉東町、和木町、南阿蘇町、大津町、大津町、高森町、西原町、氷川町、湯前町、水上村、玉名市	

令和6年度 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業実施予定先【R6年6月時点】

岐阜県 (30市町) 岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、本巣市、北方町、大垣市、海津市、関ヶ原町、輪之内町、安八町、大野町、池田町、関市、美濃市、郡上市、坂祝町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、中津川市、高山市、飛騨市	秋田県 (6市町) 秋田市、能代市、大館市、大仙市、北秋田町、羽後町 山形県 (24市町村) 山形市、上市市、山辺町、中山町、西川町、村山市、尾花沢市、新庄市、金山町、最上町、鮭川村、米沢市、長井市、南陽市、高島町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、鶴岡市、庄内町、遊佐町	青森県 (2市町) むつ市、三戸町 北海道 (27市町村) 旭川市、北見市、岩手町、盛岡市、釧路市、帯広市、伊達市、紋別市、北九州市、厚沢部町、網走町、岩内町、余市町、安平町、厚真町、中川町、利根町、留萌市、初山別村、北見市、遠軽町、音更町、中札内村、足寄町、定寄町、厚岸町、厚岸町、厚岸町	岩手県 (6市町) 盛岡市、宮古市、大船渡市、矢巾町、西和賀町、一戸町 宮城県 (6市町) 気仙沼市、白石市、角田市、栗原市、大崎市、亶理町 福島県 (6市町) 会津若松市、喜多方市、川俣町、会津坂下町、三春町
滋賀県 (10市町) 彦根市、長浜市、近江八幡市、東近江市、米原市、竜王町、豊郷町、多賀町 福井県 (16市町) 福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、若狭町	新潟県 (24市町村) 上越市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、出雲崎町、湯沢町、津南町、関川村 東京都 (6市区) 品川区、渋谷区、杉並区、板橋区、日野市、狹江市	茨城県 (32市町村) 水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、神栖市、土浦市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、結城市 群馬県 (8市町村) 前橋市、伊勢崎市、沼田市、館林市、渋川市、藤原市、吉岡町、玉村町 栃木県 (11市町) 小山市、栃木市、矢板市、那須塩原市、佐野市、日光市、宇都宮市、鹿沼市、茂木町、壬午町、野木町	埼玉県 (6市町) 戸田市、白岡市、蕨市、熊谷市、深谷市、久喜市 千葉県 (22市町) 八千代市、流山市、佐倉市、成田市、山武市、睦沢町、袖ヶ浦市、鴨川市、市川市、流山市、佐倉市、成田市、山武市、睦沢町、袖ヶ浦市、鴨川市、市川市、流山市、佐倉市、成田市、山武市、睦沢町、袖ヶ浦市、鴨川市
兵庫県 (19市町) 神戸市、明石市、三田市、伊丹市、川崎市、赤穂市、三木市、高砂市、三田市、丹波篠山市、豊中市、栗東市、猪名川町、多可町、福崎町、播磨町、市川町、太子町 京都府 (7市町) 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、八幡市、宇治田原町、精華町 富山県 (12市町) 高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、朝日町	大阪府 (10市) 豊中市、箕面市、守口市、大東市、岸和田市、池田市、枚方市、八尾市、門真市 石川県 (12市町) 小松市、七尾市、野々市市、津幡町、加賀市、かほく市、志賀町、穴水町 山梨県 (7市町) 甲府市、南アルプス市、昭和町、山梨市、甲州市、都留市 長野県 (17市町村) 長野市、飯島町、佐久穂町、麻績市、飯田市、飯山市、塩尻市、須坂市、千曲市、松本市、高森町、西原町、高森町、西原町、高森町、西原町	東京都 (6市区) 品川区、渋谷区、杉並区、板橋区、日野市、狹江市 山梨県 (7市町) 甲府市、都留市、山梨市、韮崎市、南アルプス市、甲州市、昭和町 長野県 (17市町村) 長野市、飯島町、佐久穂町、麻績市、飯田市、飯山市、塩尻市、須坂市、千曲市、松本市、高森町、西原町、高森町、西原町	茨城県 (32市町村) 水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、神栖市、土浦市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、結城市 群馬県 (8市町村) 前橋市、伊勢崎市、沼田市、館林市、渋川市、藤原市、吉岡町、玉村町 栃木県 (11市町) 小山市、栃木市、矢板市、那須塩原市、佐野市、日光市、宇都宮市、鹿沼市、茂木町、壬午町、野木町
山口県 (9市) 下関市、山口市、萩市、防府市、光市、長門市、美祿市、周南市 広島県 (7市町) 福山市、海田町、安芸高田市、三原市、府中市、三次市、湯田町 佐賀県 (4市町) 左賀市、多久市、基山町、白石町 福岡県 (9市町) 宇美町、中瀬市、小野市、大野市、宗像市、宮若市、宇美町、篠栗町、桂川町	宮崎県 (4市町) 宮崎市、国富町、高鍋町、小林市 大分県 (5市) 豊後大野市、由布市、国東市 長崎県 (10市町) 長崎市、大村市、長与町、川棚町、波佐見町、高森町、西原町、高森町、西原町 熊本県 (14市町村) 大津市、玉東町、和木町、南阿蘇町、大津町、大津町、高森町、西原町、氷川町、湯前町、水上村、玉名市	鹿児島県 (11市町) 鹿児島市、枕崎市、南さつま市、薩川内市、知名町、与論町 沖縄県 (7市村) 那覇市、南城市、うるま市、宮崎県 (4市町) 宮崎市、国富町、高鍋町、小林市 大分県 (5市) 豊後大野市、由布市、国東市 長崎県 (10市町) 長崎市、大村市、長与町、川棚町、波佐見町、高森町、西原町、高森町、西原町 熊本県 (14市町村) 大津市、玉東町、和木町、南阿蘇町、大津町、大津町、高森町、西原町、氷川町、湯前町、水上村、玉名市	

※各都道府県において実施予定先を最終的に決定するため、今後、増減の可能性あり。

事業内容

- ▶ 地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定。当該都道府県が主体となって関係者や専門家等で構成する推進会議を設置し、域内の市区町村等と協力して課題の解決に向けた取組を試行することで、他の地域でも参考となるような課題の解決方策を見いだす。
- ▶ 取組の成果等についてシンポジウムや報告書等を通じて情報発信し、全国的な取組を推進。
- ▶ 本事業を実施する都道府県は、以下の10の政策課題から解決に向けて取り組むものを少なくとも3つ選択し取組を実施。

政策課題	1	多様なスポーツ協会の提振（マルチスポーツ環境の整備）	2	高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組	3	スクールバスの活用や地域公共交通との連携	4	不登校や障害のある子供たちの地域の学び場としての役割	5	トレーナーの活用を含めた社会関係の体制づくり
	6	依存・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人等々の活用	7	学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツの活動拠点づくり	8	企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用	9	動画コンテンツ等の活用	10	多様なニーズに対応した大会の開催

採択状況

▶ 本事業の実施を希望する都道府県を公募し、有識者で構成する選定会議における審査を経て、7県（公募のあった全ての申請）を採択。

各県が設置する推進会議等

- ・課題の解決に向けて試行する取組内容の具体化・進捗管理
- ・取組の分析・検証
- ・今後の改善策や方向性等の検討、報告書のとりまとめ 等を行う

茨城県 土浦市、高萩市、つくば市、守谷市、徳信市

取組課題：① ③ ④ ⑤

※主な取組内容（予定）※

- ・幅広い世代や団体等が交流できる機会の創出
- ・大学のアスリート人材の活用
- ・ガバメントクラウドファンディングの活用
- ・オンライン指導によるスポーツ体験機会の拡充

新潟県 長岡市、村上市

取組課題：① ③ ④ ⑥

※主な取組内容（予定）※

- ・子供の多様なニーズに応じた活動機会の提供
- ・地域で活用している車両による移動手段の確保
- ・障害の有無に関係なく参加できるインクルーシブな活動の実施

兵庫県 神戸市、姫路市、尼崎市、播磨川市、福美町、播磨町

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑩

※主な取組内容（予定）※

- ・不登校や障害のある子供を対象とした学び場の確保
- ・ICTを活用した指導者の研修・認定体制の構築
- ・学校と地域クラブ備品等の利用ルールの制定
- ・地域クラブ活動主体の大会運営等のあり方検証

香川県 東かがわ市、高松市

取組課題：① ② ③ ⑥ ⑩

※主な取組内容（予定）※

- ・スクールバスの活用、乗降車管理DX化
- ・企業版ふるさと納税、クラウドファンディングの活用
- ・試合数を均等に保証し、他県他市との交流の場としての大会を開催

福岡県 宗像市、桂川町

取組課題：① ⑥ ⑧

※主な取組内容（予定）※

- ・県内の大学や企業を集めたコンソーシアムを設置し人材・施設等を活用
- ・労務管理・会費徴収等の機能を一元化したアプリを開発、地元企業からの協賛金を運営費として活用

熊本県 南阿蘇町、大津町

取組課題：① ⑥ ⑨

※主な取組内容（予定）※

- ・生徒の志向や体力等に応じた複数種目の体験会の開催
- ・大学生の活用、研修会の実施
- ・オンデマンド型指導やライブ型指導の実施

沖縄県 宜野湾市、石垣市、うるま市、糸満市、南城市、宜野座村

取組課題：② ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

※主な取組内容（予定）※

- ・小・中学生共通プログラムによるスポーツ活動
- ・県内外トレーナーと連携し、指導者研修会のプログラム化・教本化を実施
- ・スマートロックの活用、学校体育施設のICT化

※県から当該自治体のスポーツ協会、総合型地域スポーツクラブに直接委託して実施予定。

多様な地域クラブ活動（収支構造を含む。）のモデルの構築

◆ 多様なモデルのマッピング（運営類型／規模別）のイメージ

地域クラブ活動への移行における好事例のマッピングのイメージ（規模別）

規模	運営類型	政令指定都市	中核市	その他の市（人口10万人以上）			その他の市（人口10万人未満）			町村		
				10万人以上	5万人以上	5万人以下	10万人以上	5万人以上	5万人以下	10万人以上	5万人以上	1万人
市区町村運営型	多世代型	※山形県 入道町			※山形県 赤松町			※山形県 大曲町				
	企業版ふるさと納税型									※山形県 大曲町	※山形県 大曲町	
	施設活用型			※山形県 入道町							※山形県 大曲町	
地域スポーツ協会運営型	多世代型			※山形県 入道町								
	企業版ふるさと納税型	※山形県 入道町		※山形県 入道町								
	施設活用型			※山形県 入道町								
その他	その他											※山形県 大曲町

方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ活動の最適化を図り、体験格差を解消。

改革推進期間

地域クラブ活動の充実

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

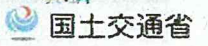
・事例創出・課題の洗い出し、課題解決策の検討・試行、
地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析
・成果の普及、進捗状況の検証、地域クラブ活動の整備促進、
全国的な取組の推進

・ガイドラインの見直し
・更なる支援方策の検討

4. 参考資料

「部活MaaS」×「EVタクシー」(北海道帯広市)

子育て×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】TKタクシー株式会社
 【実施主体】TKタクシー株式会社
 【共創パートナー】ぷれいおん・とがち(子育て)
 全国子育てタクシー協会(子育て)他

地域課題

- ・ タクシー業界では需要が減少がドライバー数が減少。
- ・ 生徒数の減少で、複数の学校から成る合同部活動の活動場所までの移動手段的確保が保護者の負担。
- ・ デマンドタクシーの効率的なマッチングが行えていない。
- ・ EV所有者が数少ない充電器設置場所を探し、その場所へ行っても他の人が充電していて、必要なタイミングで充電できない。

実証事業の内容

- ・ EVによるデマンドタクシーを活用した合同部活動の移動実証。
- ・ EV充電器利用状況の見える化実証。

事業実施区域



引用：国土地理院

事業体制



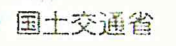
今後の展開

- ・ 2年目はモデル地区、運行期間は変更せず、競技数を増やす予定。
- ・ 3年目はモデル地区、競技数を増やし、4年目以降の実装に備える。

国土交通省HPより引用：<http://pacific-hojo.com>

習い事応援タクシー実証実験(士別市地域公共交通活性化協議会)

教育×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】士別市習い事応援タクシー実装プラットフォーム
 【実施主体】士別市地域公共交通活性化協議会
 【共創パートナー】株式会社士別ハイヤー(交通)
 一般財団法人士別市スポーツ協会(スポーツ)

地域課題

「合宿の里」として様々なスポーツ団体を受け入れることで、市民のスポーツへの意識が高い中、子どもの部活や習い事を交通手段がないことにより断念せざるを得ない状況

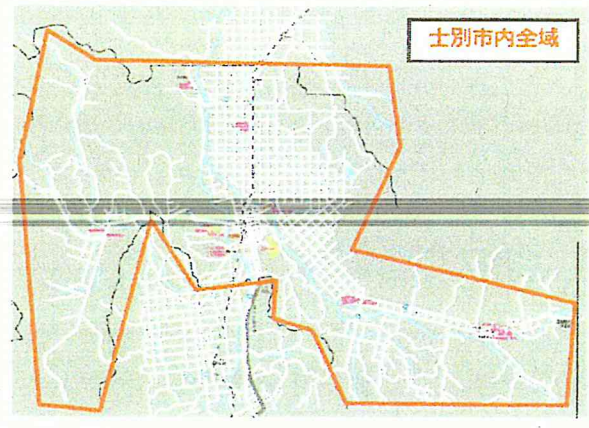
実証事業の内容

小中学生の習い事に関する乗合タクシー送迎を、利用者負担を軽減したうえで実施する。

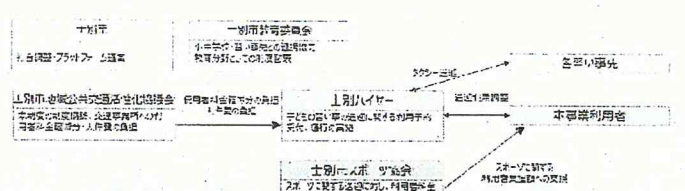
今後の展開

予約方法・利用料金・保護者ニーズ等の利用者意見を徴収するアンケート調査を実施し、利用実績や傾向の分析を踏まえ、各関係団体との連携などにより、利用料金の適正化・システムの導入による効率化・さらなる協力団体の拡大等を検証し、持続可能な制度として今後運用できるよう取り組みを行う。

事業実施区域



事業体制



国土交通省HPより引用：<http://pacific-hojo.com>

語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)

The Japan Exchange and Teaching Programme

目的 外国青年を招致して地方自治体で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る。

事業主体 都道府県、政令指定都市、市区町村、私立学校等
 運営協力 (一財)自治体国際化協会、総務省、外務省、文部科学省
 事業開始年 1987年(昭和62年)

参加者の職務内容 **外国語指導助手(ALT: Assistant Language Teacher)**
 小・中・高等学校等で語学指導に従事
国際交流員(CIR: Coordinator for International Relations)
 地域において国際交流活動に従事
スポーツ国際交流員(SEA: Sports Exchange Advisor)
 地域においてスポーツを通じた国際交流活動に従事

参加者数 5,831名 (2023.7.1時点)
 参加者累計 77,172名 (2023.7.1時点 78か国)
 任用期間 1年間 (最長で5年間まで更新可)



JETプログラム SEAの活用

SEA(スポーツ国際交流員) Sports Exchange Advisor

一般財団法人自治体国際化協会 令和6年1月

【職務(例)】

- ① スポーツ指導事務の補助(事業の企画・立案、助言等)
- ② 地域における優秀な選手等に対するスポーツ指導への協力
- ③ 職員、地域住民に対するスポーツ指導への協力
- ④ 地域の民間国際交流団体のスポーツ事業活動に対する助言、参画 等

【配属(例)】

スポーツ振興部局、教育委員会、高等学校、スポーツトレーニングセンター等

※SEAの要件

- ・各国の政府機関等が、特定種目の指導者の分野で特に優秀と認められる者として推薦する者
- ・英語又は日本語の実用的能力を有する者 等



地域のマラソンイベントに参加するSEA(山形県長井市)

SEAの競技種目内訳(2000年以降/2023年7月現在) (単位:人)



サッカーを指導中のSEA(北海道東川町)

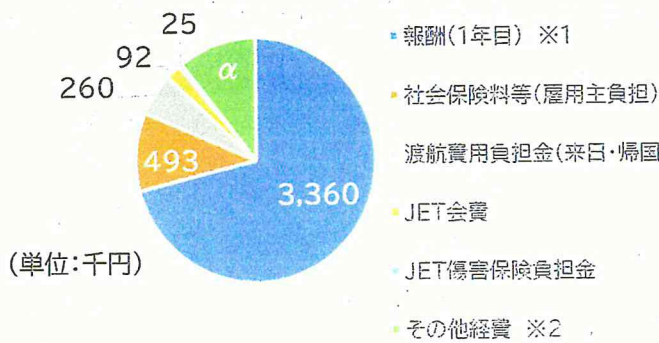
SEAの任用状況(2023年7月現在)

任用団体	国名	種目
北海道東川町	スウェーデン	クロスカントリー
	デンマーク	サッカー
	アメリカ	野球
	中国	卓球
北海道白糠町※	インドネシア	バドミントン
山形県長井市	タンザニア	陸上
宮城県加美町	ドイツ	カヌー

※配置数2名。いずれも同国、同種目。

JET任用の経費と財政支援

○ JET参加者1名に要する経費(例)



合計額：約420万円(1年目)～480万円(5年目)／名・年 + α

※1 報酬は2年目360万円、3年目390万円、4・5年目396万円になります。

※2 研修旅費等の活動経費、備品等の管理経費がかかります。

○ JETプログラムの地方交付税措置

◆都道府県

・地方自治体におけるJET参加者の任用に要する経費(報酬・旅費など)について、普通交付税措置

(標準団体(人口170万人)の場合、約2億5千万円(JETプログラムコーディネーターに係る経費の地方交付税措置含む。))

・私立学校におけるJET参加者の雇用に係る都道府県の助成経費について、特別交付税措置

(算定：地方単独事業で一人上限602万円×0.5)

◆市町村

・地方自治体におけるJET参加者の任用に要する経費(報酬・旅費など)について、当該団体のJET参加者数に応じた額を普通交付税措置

(標準団体(人口10万人)の場合、120万円+JET参加者数×4.82万円)

・JETプログラムコーディネーターに係る経費について、特別交付税措置

(算定：地方単独事業で直接要する経費×財政力補正係数×0.5)

SEAの配置を希望する場合は、都道府県・指定都市国際交流所管課を通して、自治体国際化協会までご連絡ください。

下記は令和6年度のスケジュール(予定)です。

要望期限	来日時期
令和6年12月	令和7年8月

○問合せ先

一般財団法人自治体国際化協会 JETプログラム事業部 調整課

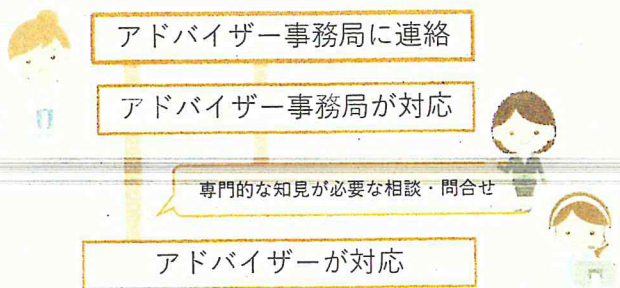
TEL:03-5213-1727

メール:assen@clair.or.jp

地域スポーツクラブ活動アドバイザー事務局について

運動部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備に向け、自治体における取組を支援するため、「地域スポーツクラブ活動アドバイザー事務局」を設置し、自治体からの相談・問合せに対応いたします。

利用フロー



※対応形式：オンライン会議、電話、現地訪問等

Q&A

01

アドバイザーに訪問を依頼する場合、費用は必要ですか？

助言・支援に係る費用はアドバイザー事務局が負担します。訪問に係る費用について、自治体の負担はありません。

02

自治体が主催する協議会や講習会で講演してもらうことはできますか？

学識経験者や学校関係者、スポーツ団体関係者など、幅広い知見を持ったアドバイザーによる講演対応も受け付けています。

03

アドバイザー事務局は誰でも利用可能ですか？

本アドバイザー事務局は、都道府県・市区町村のご利用に限定させていただきます。

アドバイザー一覧

- ・石川 智雄 新潟県 長岡市教育委員会 学校教育課 部活動地域移行室 課長
- ・金崎 良一 長崎県 長与町教育委員会 教育長
- ・小出 利一 NPO法人 新町スポーツクラブ 理事長
- ・佐藤 嘉晃 静岡県 掛川市教育委員会 教育長
- ・澁谷 健一 公益財団法人 新潟県スポーツ協会 スポーツ推進課長
- ・友添 秀則 環太平洋大学 体育学部 教授

- ・西 政仁 奈良県 生駒市生涯学習部 スポーツ振興課長
- ・久田 晴生 長崎県教育庁 体育保健課 学校体育班 部活動地域移行推進リーダー
- ・松尾 哲矢 立教大学 スポーツエルネス学部・大学院スポーツエルネス学研究科 教授
- ・渡辺 靖代 一般社団法人 スポーツリンク白川 クラブマネージャー
- ・渡邊 優子 NPO法人 希楽々 理事長 ゼネラルマネージャー

(五十音順・敬称略)
※令和6年5月時点

問い合わせ先

- ホームページ <https://sports-club-advisor.jp/>
- 電話 050-4560-2871 対応可能時間：10:00～17:00(土曜・日曜・祝日を除く)
- メール advisor@leifras.co.jp



学校部活動の地域連携・地域移行に関する情報発信について

○ポスター・チラシの作成

部活動改革について、より多くの方へ周知し、ご理解いただくことを目的として作成

令和5年度から、休日の部活動の地域連携・地域移行が始まります

これから、だんだんと、休日の部活動は学校単位ではなく、地域クラブ活動として地域で実施するようになります。これは、子どもたちのための大改革です。部活動のこれまでの「当たり前」から見直し、地域で行うクラブ活動として、新しい取り組みを切り出しましょう。

● どうして部活動改革を進めるの？
全国で少子化が深刻化

1運動部あたりの人数の減少
対抗チームスポーツなど部活動が盛りでない団体競技は出られない
中学校における部活動の減少
やりたい部活動が学校にない

子どものスポーツ機会を守る
地域の子どもは、学校を離れた地域で暮らす

部活動改革ポータルサイト
部活動改革ポータルサイト～学校単位での地域連携・地域クラブ活動への移行に向けて～
令和5年度からホームページで部活動改革に関する情報を発信します。
部活動改革ポータルサイト
部活動改革ポータルサイト

○好事例紹介動画

全国に先駆けた取組を行う自治体取材し、学校関係者や指導者、保護者、生徒の声を収録

[長崎県長与町]

部活動の地域移行
～生涯スポーツ社会の実現に向けた「地域スポーツ活動」への進化～

部活動の地域移行
京都府舞鶴市、福岡県宗像市、兵庫県加古川市・加古郡播磨町

部活動の地域移行
京都府舞鶴市、福岡県宗像市、兵庫県加古川市・加古郡播磨町の取組

金嶋 良一
田中 新
西野 直樹
高宮 史郎

実際のこどもたちの意見



令和5年10月28日(土)に、こども家庭庁が行う「こども若者★いけんプラス」の枠組みで、10人の中学生(9都府県)から中学校の休日の運動部活動の地域クラブ活動への移行について意見を募集した。

- ・所属する部活の時間以外の時間に他の活動をしたい
- ・休みのタイミングを調整して兼部できるシステムがあつたらいい
- ・部活は辞めづらいし途中入部もづらい。
- ・顧問の先生が知識もなく、よく知らないのに口を出してくるのは困る。プランを一緒に考えてくれるだけでもいい。
- ・団体競技では特に他校と交流を持つたらいいのと思うが、先生たちの交流がない。

部活動の課題

指導者の質

- ・すごい指導者の合同練習会があればいい
- ・(時々でも)プロに教えてもらうのは効果的で、重要。
- ・やりたい人がいればそれだけでクラブは作れる。指導者は見つけれればいいねという感じで、好きなようにやっていけばいいのではないか。

ニーズに応じた活動

- ・軽く・楽しむことを目的にしてほしい
- ・一つ一つの部活をゆるくしてほしい
- ・遊びでもスポーツができればいい
- ・体育で遊びたい。部活はガチすぎる
- ・勉強と両立するため、短時間でできる運動であればいい
- ・スポーツは楽しみながらできるほうがいい
- ・エンジョイしたい人と大会で勝って実績を積みみたい人のバランス

金銭的不安

- ・金銭面で外部のクラブに入るハードルが下がればいい
- ・月払だと「お金がかかるから休めない」となるので、都度支払いがいい。

交流の活性化

- ・やれる部活の種類が増えたり、他校の生徒と試合ができたら嬉しい
- ・いろんな人と交流できる運動施設があれば、それを目的に運動しに行ける。

レベルに応じた活動

- ・初心者など、レベルで分けたほうがいい。
- ・指導者の人数を増やしたら、どちらのタイプの人も見えてあげられるのでは
- ・募集の際に「初心者でも優しく教えます」と記載されたりしていると初心者でも安心できる
- ・学年関係なく同じレベルからスタートだと良い。
- ・運動が苦手な人で集まっているいろいろなスポーツを経験できれば、恥ずかしくないし、得意なものや自分ができるものも見つかるのでは

やってみたい活動

スキー/スケートボード/ラグビー/弓道/卓球/パルクール/新しいスポーツをやれたらカッコいい/ポッチャやモルックといったパリンピック競技/バンド活動/メイク/畑で何か育てることができると嬉しい



ご清聴ありがとうございました

tutsumi@mext.go.jp
03-6734-3494

スポーツが変える、未来を創る。

Enjoy Sports. Enjoy Life

